

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 伏見 有貴
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けIR電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	61,261	16.0	8,116	78.4	8,034	78.4	5,467	79.1
2026年3月期第1四半期	52,796	3.6	4,548	12.1	4,504	10.9	3,053	26.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 6,296百万円(186.4%) 2026年3月期第1四半期 2,198百万円(△6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	25.75	—
2026年3月期第1四半期	14.41	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	538,178	169,271	30.3
2026年3月期	525,309	166,683	30.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 162,898百万円 2026年3月期 160,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	119,600	7.8	12,900	3.9	12,900	3.6	8,900	3.2	41.91
通期	255,000	△3.0	31,000	6.3	30,500	4.2	21,000	0.4	98.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	217,041,598株	2026年3月期	217,041,598株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,672,165株	2026年3月期	4,691,905株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	212,357,729株	2026年3月期1Q	211,829,325株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-I R資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①当第1四半期連結累計期間の概況

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売 上 高	52,796百万円	61,261百万円	+16.0%
営 業 利 益	4,548百万円	8,116百万円	+78.4%
経 常 利 益	4,504百万円	8,034百万円	+78.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,053百万円	5,467百万円	+79.1%

(参考) 評価 営業利益	7,871百万円	10,583百万円	+34.5%
--------------	----------	-----------	--------

〔前年同期比〕

前年同期（2025年4月～6月）には、会員権事業において、「サンクチュアリコート金沢」、「サンクチュアリコート淡路島」を中心に、未開業ホテル会員権の販売が好調でありました。当期間（2026年4月～6月）では、既存ホテルの会員権販売が集中したことで、会計上の収益性が向上したことに加え、2026年6月から「サンクチュアリコート外房雀島」の会員募集を開始したこともあり、その新規発売効果も後押しし、前年同期を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、ハイメディック会員の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、ホテルレストラン等事業において、前期に開業したホテルの収益貢献に加え、価格改定などによる消費単価の上昇などにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加等のコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、第1四半期としては過去最高の売上高、営業利益を更新し「増収増益」となりました。実力値を示す「評価営業利益（利益成長率目標10%）」も+34.5%と大きく進展しました。

（参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。）

〔全体概況〕

当第1四半期連結累計期間における、当社グループの状況は、前年度に引き続き、建築コストの上昇に対応するため、一部の商品（会員権）の価格を見直すことや、DX経営の推進、人的資本経営の推進による「生産性の向上」により各セグメントにおいて収益性の向上を目指しております。会員募集については、好調が継続しており、2026年6月には新規ホテルの会員募集を開始しました。ホテル会員数、メディカル会員数の増加に伴う増収や2026年2月に開業した「サンクチュアリコート日光」の通期稼働、前年度実施した価格改定等が増収に寄与しております。

この結果として、売上高は61,261百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は8,116百万円（前年同期比78.4%増）、経常利益は8,034百万円（前年同期比78.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,467百万円（前年同期比79.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売 上 高	12,865百万円	18,892百万円	+46.8%
セグメント利益	4,006百万円	6,920百万円	+72.7%

会員権事業におきましては、「契約高」は最高記録を更新しております。会員権販売が好調に推移したことに加え、2026年6月には「サンクチュアリコート外房雀島」の会員募集を開始しました。前年同期に比べて、既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まったことなどにより、増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売 上 高	26,177百万円	27,476百万円	+5.0%
セグメント利益	906百万円	1,093百万円	+20.6%

ホテルレストラン等事業におきましては、2026年2月に開業した「サンクチュアリコート日光」の稼働が増収に寄与したことに加え、前年度に一部の施設で行った室料の価格改定や「賃上げと生産性向上の好循環」などにより、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売 上 高	13,581百万円	14,701百万円	+8.3%
セグメント利益	1,822百万円	2,218百万円	+21.8%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が順調に推移し、ハイメディック事業で会員の増加に伴う年会費収入等が増加したこと、一般健診事業の事業拡大や、ウェルビーイングプロダクト事業、シニアライフ事業の成長などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売 上 高	172百万円	191百万円	+11.1%
セグメント利益	110百万円	138百万円	+24.9%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は538,178百万円（前連結会計年度比2.4%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員制ホテルの新規開発に伴い仕掛販売用不動産が8,787百万円、建設仮勘定が5,905百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は368,907百万円（前連結会計年度比2.9%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、短期借入金が7,852百万円、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が5,540百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は169,271百万円（前連結会計年度比1.6%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,785百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は30.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。2026年5月15日に開示した業績予想は以下の通りです。

2027年3月期 通期連結業績予想数値（2026年4月1日～2027年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売 上 高	263,020百万円	255,000百万円	△3.0%
営 業 利 益	29,161百万円	31,000百万円	+6.3%
経 常 利 益	29,281百万円	30,500百万円	+4.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	20,912百万円	21,000百万円	+0.4%
評価 営業利益	32,804百万円	36,500百万円	+11.3%

当連結会計年度（2027年3月期）の経済環境につきましては、国内需要の底堅さやインバウンドの回復が継続する一方で、物価上昇や慢性的な人手不足、建設資材の高止まりといったコスト面での課題は引き続き注視すべき状況が想定されます。しかしながら、前期において過去最高の業績を達成した強固な事業基盤と、DX推進による「生産性向上と賃上げの好循環」は、当期においても当社グループの力強い推進力となります。

このような状況下、当期の見通しについては、会員権事業において、2026年6月に新たな会員制ホテル会員権の販売を開始しているほか、2027年3月（予定）に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート八ヶ岳」が開業を迎えることで、それまで繰延べられている不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業、メディアカル事業において、会員数、登録数、関係顧客の増加と、高付加価値な新サービスの開発と提供による単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高 255,000百万円（前年同期比 3.0%減）、営業利益 31,000百万円（同 6.3%増）、経常利益 30,500百万円（同 4.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、21,000百万円（同 0.4%増）と減収増益を見込んでおります。売上高の減収については、開業するホテルの物件規模の影響であり、実力ベースにおいては、過去最高を更新し、増収増益の評価を見込んでおります。

配当予想については、新たな中期経営計画における還元方針は、2025年度～2027年度の3年間累計で、機動的な株主還元も含めた、安定的な還元を目指しています。その方針に基づき、当期配当金予想については、前年の年間配当金の合計は34円と過去最高でありましたが、前年同期に比べ2円増配の年間配当金36円（予想）と、過去最高を更新する配当金額となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,010	33,187
受取手形、売掛金及び契約資産	12,745	12,556
割賦売掛金	106,843	108,160
営業貸付金	9,830	8,814
有価証券	13,054	7,908
商品	1,448	1,543
販売用不動産	5,558	3,668
原材料及び貯蔵品	2,167	2,251
仕掛販売用不動産	12,733	21,520
リース投資資産	2,868	3,463
その他	7,310	9,731
貸倒引当金	△932	△982
流動資産合計	206,639	211,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	110,540	113,774
機械装置及び運搬具（純額）	2,773	2,491
コース勘定	7,918	7,918
土地	51,396	51,545
リース資産（純額）	4,531	5,390
使用権資産	12,332	12,538
建設仮勘定	18,760	24,666
その他（純額）	5,326	5,044
有形固定資産合計	213,581	223,369
無形固定資産		
のれん	94	143
ソフトウェア	2,659	2,556
その他	3,317	3,412
無形固定資産合計	6,071	6,112
投資その他の資産		
投資有価証券	42,933	42,398
関係会社株式	1,410	1,414
長期貸付金	4,192	3,955
退職給付に係る資産	2,856	2,849
繰延税金資産	22,057	21,093
その他	25,984	25,579
貸倒引当金	△418	△417
投資その他の資産合計	99,017	96,873
固定資産合計	318,670	326,355
資産合計	525,309	538,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,091	1,746
短期借入金	3,614	11,467
1年内返済予定の長期借入金	654	629
リース債務	1,543	1,692
未払金	18,100	12,459
未払法人税等	5,676	2,027
未払消費税等	2,807	2,772
前受金	107,803	113,343
前受収益	17,392	17,470
債務保証損失引当金	16	14
ポイント引当金	445	507
その他	12,649	15,399
流動負債合計	172,796	179,531
固定負債		
長期借入金	1,876	1,738
リース債務	23,222	24,920
繰延税金負債	68	-
役員退職慰労引当金	225	236
株式給付引当金	1,986	2,297
退職給付に係る負債	2,986	3,084
長期預り保証金	28,232	27,868
償却型長期預り保証金	121,453	123,242
その他	5,777	5,986
固定負債合計	185,829	189,375
負債合計	358,625	368,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	24,087	24,210
利益剰余金	111,899	113,685
自己株式	△6,774	△6,743
株主資本合計	148,803	150,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,702	4,138
為替換算調整勘定	5,638	6,041
退職給付に係る調整累計額	2,109	1,975
その他の包括利益累計額合計	11,450	12,155
非支配株主持分	6,429	6,373
純資産合計	166,683	169,271
負債純資産合計	525,309	538,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	52,796	61,261
売上原価	5,596	8,400
売上総利益	47,199	52,861
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	17,076	18,273
役員退職慰労引当金繰入額	0	11
修繕維持費	1,534	1,634
貸倒引当金繰入額	72	51
債務保証損失引当金繰入額	△3	△1
水道光熱費	1,871	1,906
減価償却費	2,203	2,297
その他	19,895	20,571
販売費及び一般管理費合計	42,651	44,745
営業利益	4,548	8,116
営業外収益		
受取利息	205	250
受取配当金	5	4
持分法による投資利益	4	3
貸倒引当金戻入額	0	0
為替差益	4	0
助成金収入	11	56
その他	54	72
営業外収益合計	287	387
営業外費用		
支払利息及び社債利息	115	122
シンジケートローン手数料	11	11
控除対象外消費税等	140	189
その他	62	146
営業外費用合計	331	469
経常利益	4,504	8,034

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	25	109
有価証券償還益	229	-
特別利益合計	257	110
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	4	25
特別損失合計	6	27
税金等調整前四半期純利益	4,755	8,117
法人税、住民税及び事業税	731	1,768
法人税等調整額	908	756
法人税等合計	1,639	2,525
四半期純利益	3,115	5,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,053	5,467

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,115	5,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	436
為替換算調整勘定	△1,042	403
退職給付に係る調整額	△83	△134
その他の包括利益合計	△917	704
四半期包括利益	2,198	6,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,135	6,172
非支配株主に係る四半期包括利益	62	123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事 業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,865	26,177	13,581	52,624	172	52,796
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	1,285	282	1,583	440	2,023
計	12,881	27,463	13,863	54,207	612	54,820
セグメント利益	4,006	906	1,822	6,735	110	6,845

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,735
「その他」の区分の利益	110
全社費用(注)	△2,297
四半期連結損益計算書の営業利益	4,548

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事 業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,892	27,476	14,701	61,070	191	61,261
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	1,521	231	1,756	448	2,205
計	18,895	28,997	14,933	62,827	639	63,466
セグメント利益	6,920	1,093	2,218	10,233	138	10,371

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	10,233
「その他」の区分の利益	138
全社費用（注）	△2,254
四半期連結損益計算書の営業利益	8,116

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,513百万円	2,603百万円
のれんの償却額	107百万円	5百万円